

海上の森自然観察会

テーマ 夏鳥を探してみよう！

日時 2013年6月15日(土)10:00~14:00(曇り)

参加者 一般3名(子ども0)、指導員:4名

サンコウチョウ、オオルリ、キビタキといった夏鳥やササユリやイワガラミの花を期待して、四ツ沢から篠田池方面を回ることにしました。

ただ、梅雨入りし、朝の天気予報では午後からは降雨確率が高いので、いつもより早めに歩くことにしました。

先月と比べると、咲いている花の種類は減りましたが、バイカツツジやテイカカズラなどが咲き、ササユリは終わりかけでしたがまだ花を見ることができ、篠田池に向かう沢筋のイワガラミもちょうど見頃でした。

今回は、いろいろなトンボが見られました。四ツ沢の手前でムカシヤンマに出会いました。このトンボは飛ぶことがあまり得意でなく、参加者の帽子やリュックに止まってくれたので、しっかりと観察することができました。篠田池では水面をパトロールするギンヤンマやオオヤマトンボをはじめ、水際に止まっている真っ赤なオスのショウジョウトンボ、ヨシ原の上を飛ぶヨツボシトンボや大型のサナエトンボの仲間のコオニヤンマなど見ることができました。

歩いていると夏鳥のキビタキ、ホトギス、デンダムシクイなどの声が随所で聞かれました。昼食後、林道わきのヒノキの林で独特の鳴き声とともにサンコウチョウが姿を現しました。肉眼ではシルエットだけしかわかりませんが、尾の長いオスの姿を確認できました。ここの観察会に何回か参加しているが、今日初めてサンコウチョウが見られたという人もいて、感激していました。

その近くの林道上に15cm程のヒバカリの幼蛇がいました。あまり見る機会のない蛇なので、つまんでみると、なかなか愛嬌がある顔つきをしています。通りがかった若い女性が舌を出すしぐさを見て、「可愛い」と言って触っていました。

サテライトで休憩後、ヤブレガサの花を見に物見山登山道に向かいましたが、まだ蕾でした。この時期には例年篠田池方面を回るので、この花の時期にここに来ることはありませんでした。

先月、登山道の脇でヒナを育てていたオオルリの巣は、今年も心無い人に盗られてしまったようではありませんでした。でも、登山道を下っているとオオルリが姿をみせてくれました。

最後まで雨にも降られず、いろいろな夏鳥やトンボなどに会えた観察会でした。(報告:齋竹善行)
＜観察できたもの＞野鳥:ウグイス(声)、センダイムシクイ(声)、キビタキ(声)、ヤブサメ(声)、ホトギス(声)、イカル(声)、サンコウチョウ、オオルリ、サンショウクイ(声)、メジロ、ヒヨドリ、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラ(声)、コジュケイ(声)、ツバメ、キジバト、ハシブトガラス 昆虫:ムカシヤンマ、アサヒナカワトンボ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、ヨツボシトンボ、ギンヤンマ、オオヤマトンボ、ウチワヤンマ、フタスジサナエ、タバサナエ、モノサシトンボ、オオシオカラトンボ、ナミアゲハ、モンシロチョウ、キチョウ、コムスジ、アサマイチモンジ、ヒメウラナミジャノメ、ムラサキシジミ、ミズイロオナガシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、イチモンジセセリ、キンモンガ、タマムシ、その他:カナヘビ、ヒバカリ、ウシガエル(声) 花:バイカツツジ、クサノオウ、ヒメジョオン、ハナニガナ、ウシハコベ、ワルナスビ、コナスビ、ドクダミ、ヤマボウシ、ムラサキシキブ、テイカカズラ、ササユリ、ツユクサ、オカトラノオ、ツルアリドオシ、ハエドクソウ、イワガラミ、ネズミモチ、ヤマアジサイ、ジガバチソウ、ケンポナシ(蕾)、ヤブレガサ(蕾)



(観察会のようす)



(ムカシヤンマ)